

事業所名

児童発達支援事業所 はっぴーone

## 支援プログラム

作成日 2025年 2月 14日

法人（事業所）理念		「あせらず 急がず ゆっくりと」			
支援方針		楽しい遊びや活動を通して失敗、成功体験を積み、意欲とコミュニケーション力・自立心を育てるために必要な療育を行います お子様一人一人の発達状況やニーズに合わせた支援を行います			
営業時間（平日）	9時	00分	17時	00分	送迎実施の有無 あり
営業時間（学校休業日）	（祝日）	9時	00分	17時	
支援内容					
本人支援	健康・生活	午前・午後の検温、支援中の健康観察など心身の健康状態の把握を行います。また、子供の特性に応じた配慮、観察、異常の早期発見・初期対応を行います 食育支援を行います（偏食、感触の苦手さへの支援、噛む力・飲み込む力を育む支援、発達段階に合わせたカトラリー・食事動作の支援など） 身辺自立に向けた支援を行います（トイレトレーニング、更衣動作、身支度） 子供自身の健康維持のための生活習慣を身につける支援を行います（手洗い・含嗽、あいうべ体操） 構造化を意識した環境設定を行います（1日のスケジュール、視覚支援など）			
	運動・感覚	総合的な感覚の活用ができるよう支援します（朝の運動による固有覚・前庭覚、感触遊び、五感への刺激による感覚の土台作り、協応動作） 指先の巧緻性を高める活動を行います 姿勢の保持力向上のための姿勢指導、補助的手段を活用した支援を行います 多職種間で情報を共有し、チャレンジ課題にて個々に合わせたプログラムの計画・実施を行います			
	認知・行動	認知の偏り等の個々の特性に配慮した環境設定を行います（クラス編成、座席順、部屋の選択、個別指導、視覚支援など） チャレンジ課題による適切な行動の形成、認知・学習能力の向上のための支援を行います（ビジョントレーニングによる視機能の向上、机上課題など） 朝の会での日付、時間、天気に関する認知の形成を行います（巻物カレンダーでの日付確認、1日のスケジュールの提示） 時間概念の形成・習得を行います（時計、タイマーの活用による時間の見える化） 季節に応じた活動により感性を高める支援を行います（戸外活動、製作活動など）			
	言語・コミュニケーション	構音機能の向上からコミュニケーション能力の向上まで専門的な支援を行います（個別指導、小集団指導） 絵本の読み聞かせ、言葉カードの活用などを通して言語の形成のための支援を行います 帰りの会での発表、子供会議、活動内での発表機会を設けることで言語の受容と表出を促す支援を行います 絵カード、ジェスチャーを使い、言語に特性のある子供への配慮を行います			
	人間関係・社会性	模倣遊び、感覚・運動遊び、協同遊びを通して人間関係の形成を図れるよう支援します 一人一人の子供と信頼関係を築くことでの周囲の人と安定した関係性を構築し、アタッチメント形成を図ります 物事への秩序の理解へつなげる支援、自己の気持ち・情緒の調整につなげるためのソーシャルスキルトレーニングを行います 集団に参加するためのルール理解につなげる支援を行います 公共施設での活動を行うなど社会資源の活用を行います			
家族支援	保育園・関係機関（相談支援事業所、医療機関、保健所、児童相談所、行政等）との定期的な情報交換を行います 定期的な面談による子供の情報提供とアタッチメントを図るための支援を行います				
移行支援	移行支援シートを用いて移行先との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達を行います 就学に向けての自立行動を育めるような支援を行います（日常生活動作の自立、集団生活での適応、机上での学習による学力の向上、社会性の構築を目指す）				
職員の質の向上	施設内・施設外研修を通して知識やスキルの上昇を図ると共に職員間で学びを共有し、支援に活かしていきます				
地域支援・地域連携	保育園・関係機関（相談支援事業所、医療機関、保健所、児童相談所、行政等）との定期的な情報交換を行います 保育所等訪問支援により子供のニーズと今後の支援の進め方について共有を図ります				
主な行事等	避難訓練、遠足、プール、夏祭り、大運動会、七夕会 クリスマス会、クッキング、凧あげ、卒園式				